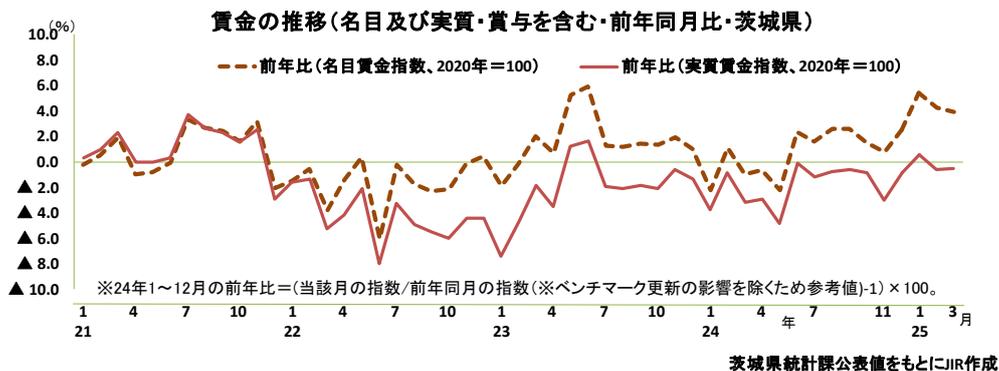


県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる

<今月のポイント>

- 県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、県内企業の間では引き続きトランプ通商政策による不透明感がみられることから、総合判断は上記とした。
- 各項目のうち、生産活動は、生産指数の方向感が下向きとなり水準も悪化したことなどを踏まえ、「弱い動きとなっている」と判断を引き下げ。その他の項目に目立った基調変化はみられないことから、全体の基調判断は据え置き。
- 賃金指数（賞与を含む）の推移を見ると、名目賃金は、24年6月以降、概ね2%以上の伸びが継続。一方、実質賃金は、物価の高止まりが続いているため、25年以降は前年比横ばいで推移している。
- 先行きは、トランプ政権の通商政策がもたらす影響とともに、海外における地政学リスク、国内における物価高や賃上げ、価格転嫁の動向等に注意する必要がある。



<基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの 変化	2025年6月調査	25年4月調査	25年5月調査	25年6月調査
総合判断	➡	総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる			
生産活動	➡	弱い動きとなっている			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている			
公共投資	➡	持ち直している			
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。

◆基調（動向）判断の表現方法（イメージ）は、「各指標の動向判断の推移」7頁の図の通り。

生産は弱い動きとなっている

4月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値^{*}）は97.6、前月比2.2%減と2か月連続で低下した（生産指数は18年以降で6番目に低い水準）。業種別の内訳（前月比での寄与度順）をみると、電気機械（同11.1%増）、非鉄金属（同4.9%増）等が上昇した一方、生産用機械（12.2%減）、食料品・たばこ（同5.7%減）、汎用・業務用機械（同6.7%減）、鉄鋼（同16.2%減）、プラスチック製品（同2.5%減）等が低下した。鉄鋼の大幅な減少は、3月の県内製鉄所の高炉1基休止が影響したと見られる。

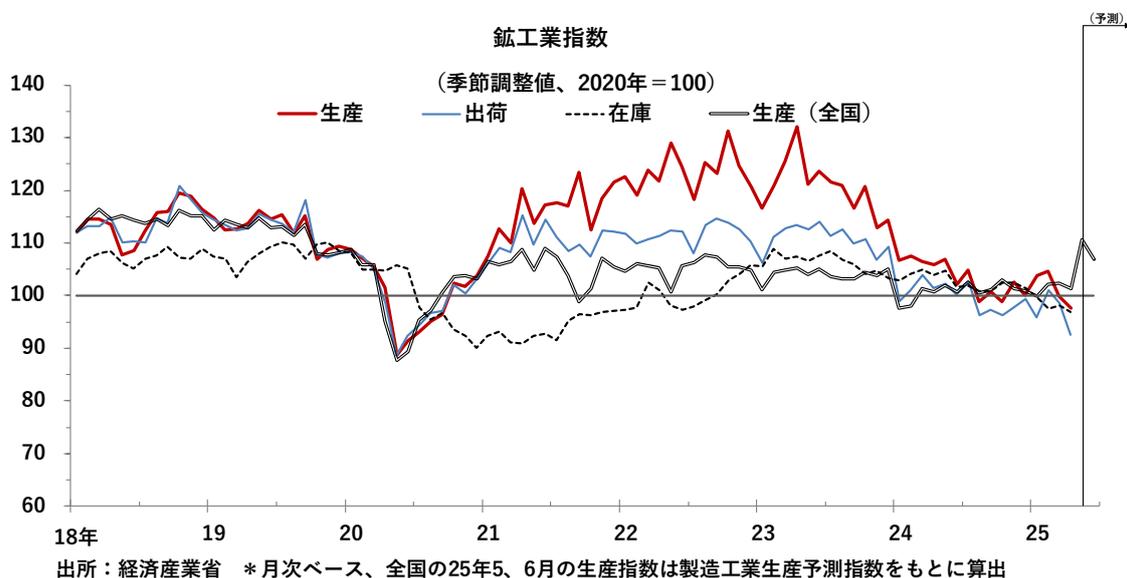
企業ヒアリング（6月）では、トランプ通商政策の影響に関し、「一部取引先で中国・北米向け商品関連の受注が増加しており、トランプ関税に対する駆け込み需要があったと思われる」（汎用機械）との声があった。一方、「現時点では追加関税の影響は限定的だが、今後の動向次第では、輸出を主力とする自動車メーカーにとって減産などのリスクが懸念される」（輸送機械）との声も聞かれた。

その他、ヒアリングでは、「市況が低迷」（食料品・水産加工）、「円安、異常気象による原料高、人件費高騰に対し、売価の値上げをどうするか困っている」（食料品）、「取引先で在庫調整の動きがある」（電気機械）といった声が聞かれた。

生産指数の方向感が下向きとなり水準も悪化したことなどを踏まえ、生産活動は「弱い動きとなっている」と判断を引き下げた。先行きの生産については、海外経済や為替市場の動向に加え、トランプ政権の通商政策の動向が輸出関連企業等にもたらす影響について、引き続き十分な注意が必要とみられる。

なお、外需に係る貿易面についてみると、4月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,865億円、前年同月比10.1%減と9か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、鉄鋼（同43.7%減）、化学製品（同23.9%減）等の減少により同17.1%減、日立（日立港・常陸那珂港）は、建設用・鉱山用機械（同13.2%減）、自動車（同1.6%減）等の減少により、同6.7%減であった。

※原数値から季節的要因を調整した数値



設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は持ち直している

民間設備投資についてみると、4月の建築物着工床面積（民間非居住用）は工場や倉庫の増加により95千㎡、前年同月比33.8%増と2か月振りに前年水準を上回った。

水戸財務事務所の「法人企業景気予測調査（4-6月期調査、茨城県）」によると、県内企業の25年度の設備投資額※は、全規模・全産業ベースで、前年度比13.2%増（うち製造業が同6.9%減・非製造業が同24.5%増）の見通しとなっている。同調査からは、企業の投資意欲は、業種間で違いが見られるものの、全体として底堅く推移しているとみられる。以上を踏まえ、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

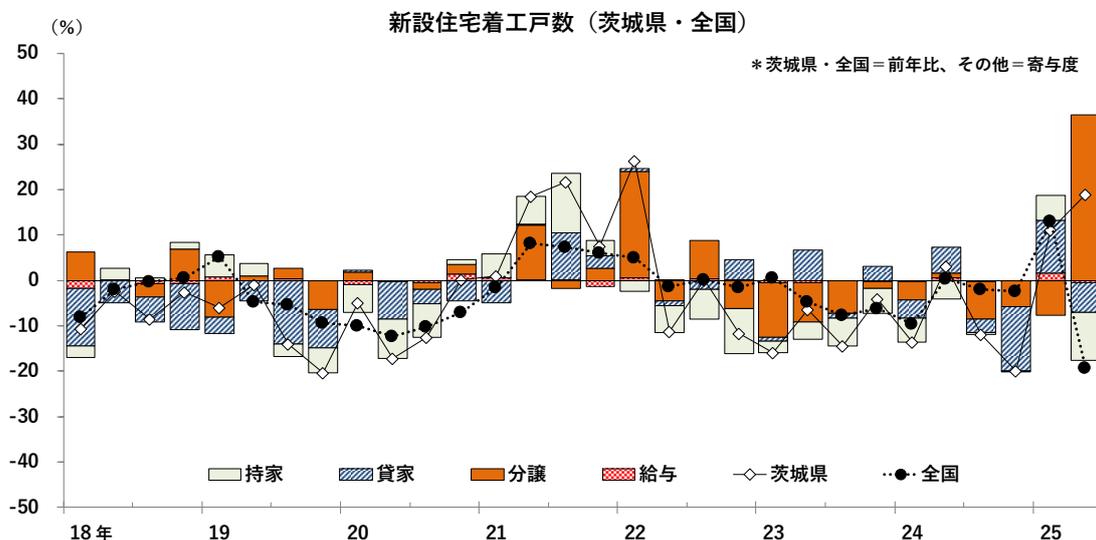
4月の新設住宅着工戸数は1,645戸、前年同月比8.0%増と3か月連続で前年水準を上回った。内訳をみると、持家は437戸、同21.0%減と2か月振りに減少、貸家は422戸、同34.0%減と3か月振りに減少した。一方、分譲住宅は783戸（うち分譲マンション602戸）、同155.0%増と2か月連続で増加した。

4月の着工戸数総数は2月、3月に続き増加したが、当月の増加の主な理由はつくば市内の大型分譲マンション着工によるもので、持家や貸家は二桁の減少となった。住宅価格の上昇や人口動態により、先行きの住宅需要は緩やかな減少トレンドが予想されることも踏まえ、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

5月の公共工事請負金額は320億90百万円、前年同月比33.7%減と2か月振りに前年水準を下回った。内訳をみると、市町村が増加、国、独立行政法人等、県が減少した。

公共投資は請負金額が単月では2か月ぶりに減少したものの、25年度の県などの公共投資関連予算は概ね前年度並みで推移する見通しにあることから、「持ち直している」との判断を据え置いた。

※ソフトウェアを含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 *四半期ベース、25年2Qは4月のみの数値

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

5月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は6,926台、前年同月比3.6%増と、5か月連続で前年水準を上回った。内訳は普通乗用車が同1.8%減、小型乗用車が同14.8%増、軽乗用車が同3.3%増であった。

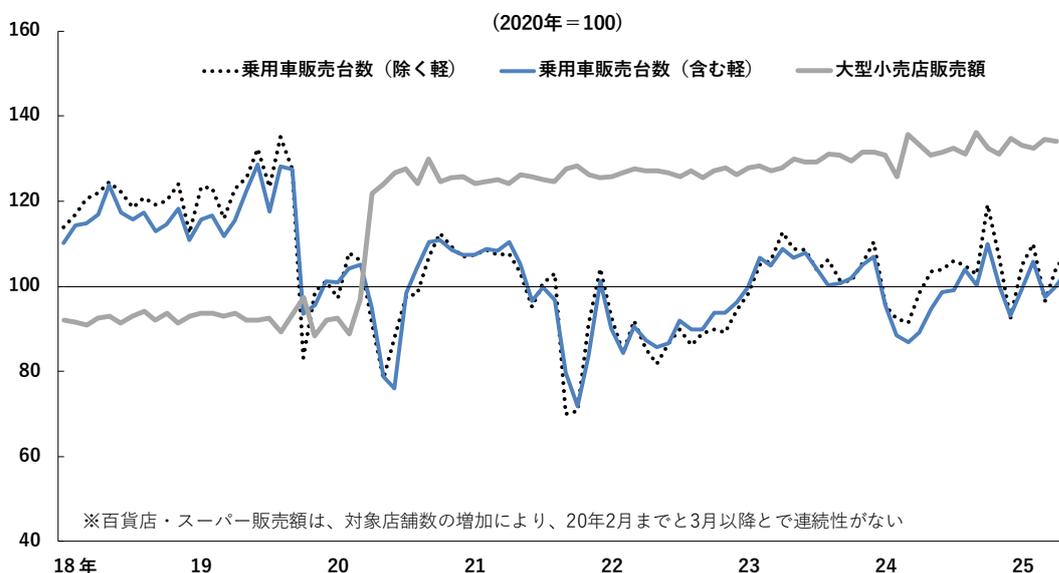
4月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比0.7%増、既存店ベースは同1.2%増と、ともに2か月連続で前年水準を上回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同1.2%増と17か月連続で前年水準を上回った。ホームセンターは同0.2%増と6か月連続で前年水準を上回った。ドラッグストアは5.1%増と48か月連続で、コンビニエンスストアも同2.4%増と12か月連続で前年水準を上回った。

4月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、自動車等維持費や仕送り金などの増加により前年同月比20.0%増と、2か月振りに前年水準を上回った。消費マインドに関して、5月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は43.8と、前月比2.8pt増ながら判断の目安となる50を引き続き下回った。

企業ヒアリング（6月）では、「メーカーからの新車供給が正常化し、新車売上は前年比二桁増で推移」（自動車小売）との声が聞かれた。一方、「天候に恵まれず、季節商品や白物家電の売上が想定より弱い状況」（家電小売）、「全てが値上がりしているので安い商品しか動かない」（青果卸）など、天候不順や消費者の買い控えの影響を指摘する声も聞かれており、消費者の購買行動はまだら模様となっている。なお、高騰が続くコメ価格に関しては、「備蓄米や輸入米の流通によりコメ価格は低下し、年内くらいまで落ち着いた状況が続くのでは」（米卸売業）との声が聞かれた。

このように個人消費は、物価高による消費マインドの低下の影響を受けつつも供給サイドの販売動向は引き続き堅調であることなどから、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省 *X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

雇用情勢は持ち直している—労働需給は引き続きタイトな状況

4月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.21倍、前月比0.04pt減と3か月連続で低下した。新規求人倍率は1.91倍、前月比0.24pt減と2か月振りに低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.45倍であった。

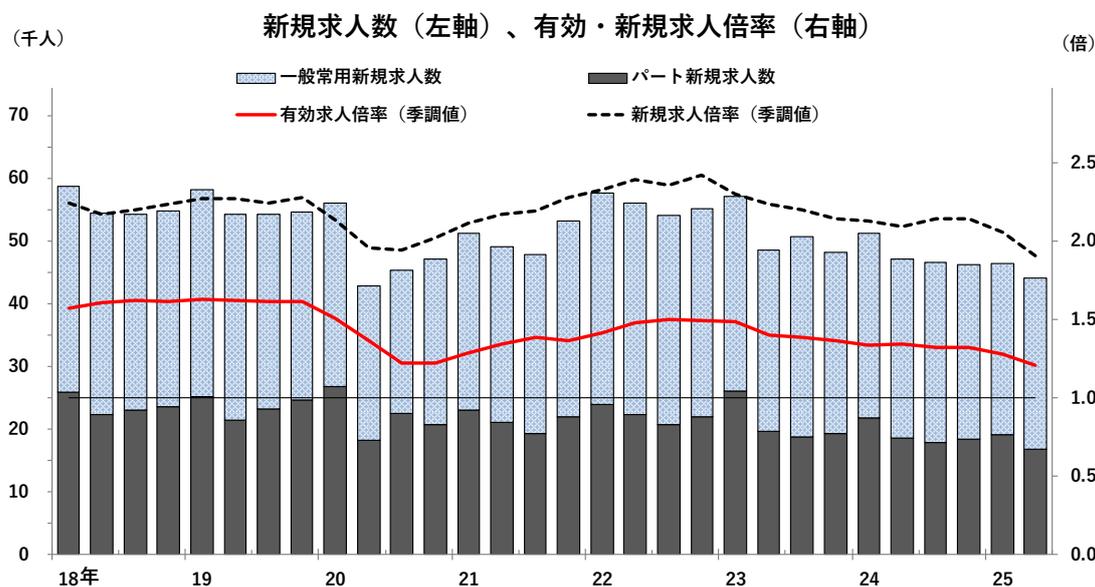
新規求人数は15,274人、前年同月比9.8%減と4か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数は10,985人、同0.6%増と9か月振りに前年水準を上回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業（同67.9%増）、生活関連サービス業・娯楽業（同8.7%増）などが増加したものの、宿泊業・飲食サービス業（同60.2%減）、情報通信業（同43.0%減）、卸売業・小売業（同15.8%減）、運輸業・郵便業（同11.6%減）などが減少した。

失業者を示す雇用保険受給者数は7,456人、前年同月比0.4%減と、小幅ながら3か月振りに前年水準を下回った。

一方、「法人企業景気予測調査（茨城県）」によると、4-6月期の従業員数判断BSI[※]は、全規模・全産業ベースで「不足気味」超幅が拡大した（1-3月期：26.9pt→4-6月期：36.0pt、+9.1pt）。県内の広告求人件数も前年水準を上回って推移しており、民間職業紹介を含めた県内の求人動向は底堅く推移している。

このように、雇用情勢は、人手不足を背景に、労働需給がタイトな（引き締まった）状況に大きな変化がないことから、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。もっとも、先行きについては、米トランプ通商政策の影響などにより、海外国内経済の悪化が懸念される。このため、採用難が続く県内でも、今後は雇用抑制を検討する企業が増えるリスクには注意が必要である。

※「不足気味」－「過剰気味」



出所：厚生労働省 * 四半期ベース、25年2Qは4月のみの数値

茨城県経済動向 基調判断の推移

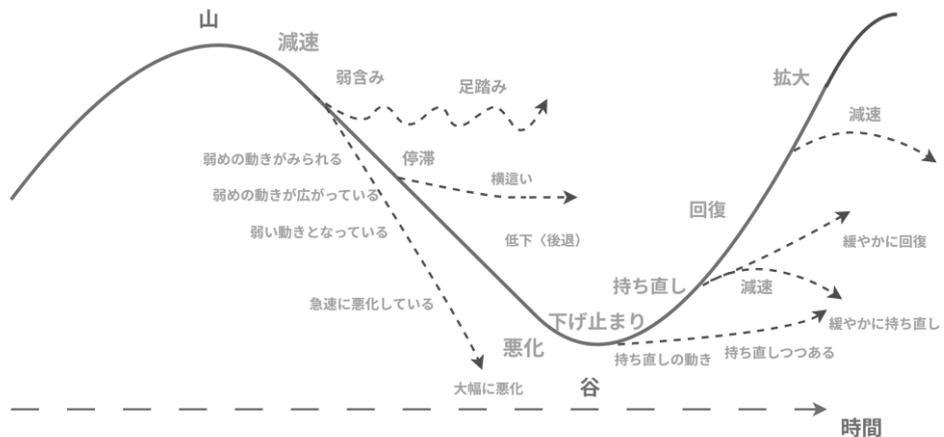
		基調判断
2021	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2022	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	5	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる
	6	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策による不透明感がみられる

各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資
2024	5	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	6	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	7	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	8	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	9	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
	10	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している
2025	1	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している
	2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	3	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	4	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	5	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
	6	弱い動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している

		公共投資	個人消費	雇用
2024	5	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している
	6	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる
	7	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる
	8	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しが見られる - 労働需給は引き続きタイトな状況
	10	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
2025	1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	3	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	4	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	5	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
	6	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況

基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年6月23日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。